

ISO14001認証取得によるグリーン・エンジニアの育成

栃木県立宇都宮工業高等学校

平成12年度より「環境教育の推進」を重点目標のひとつに掲げ、グリーン・エンジニア（人に優しく環境課題に対する識見と行動力を備えた工業技術者）の育成に取り組んでいます。平成14年2月には、全国の公立高校で初のISO14001の認証を取得。ISO14001システムを運用する中で、学校全体から排出される可燃ゴミ量のリデュース活動及び地球環境保全に対する様々な普及・啓発活動を7年間、継続して実施しています。

取組目的

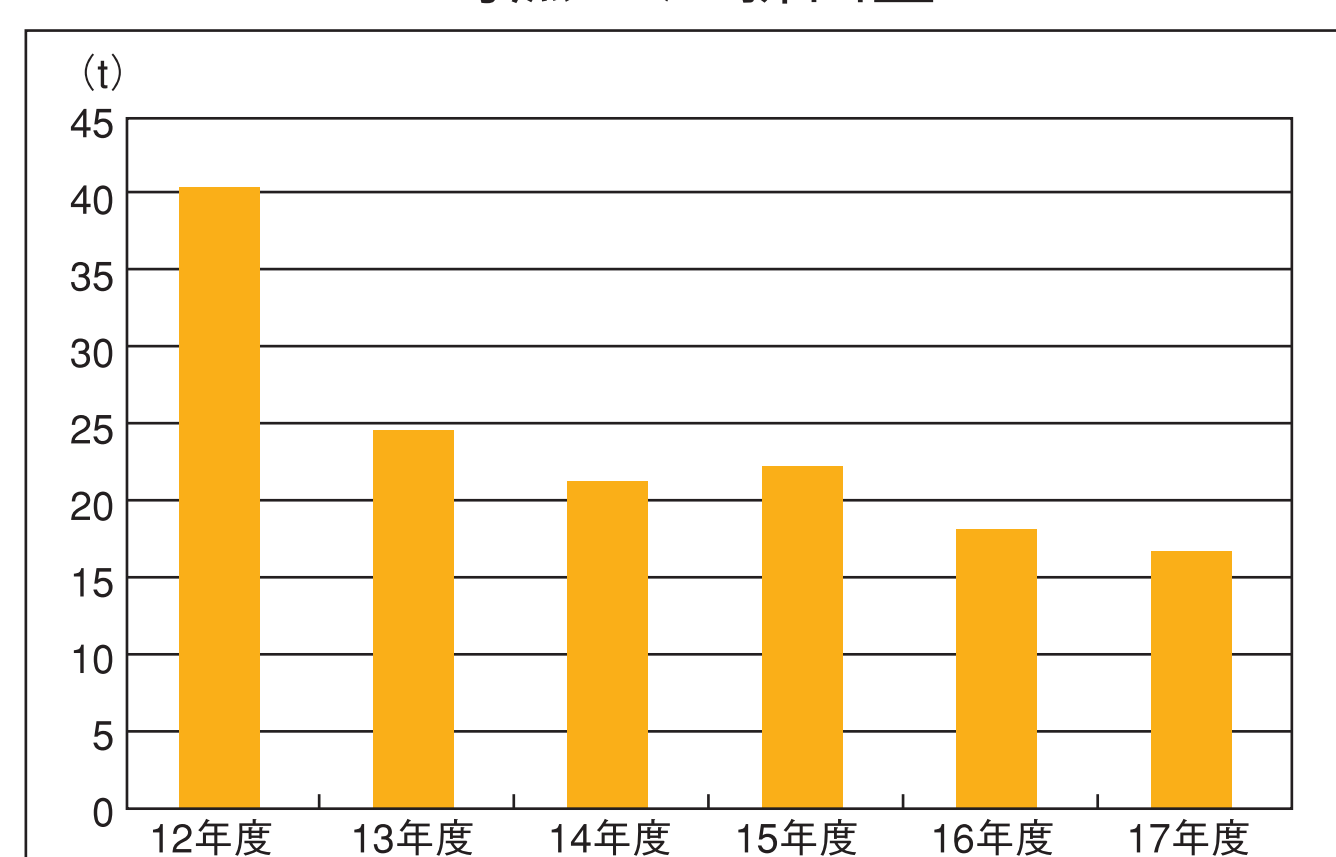
校訓「一人は一校を代表す」の具体的な活動として積極的に環境教育活動を実践し、「グリーン・エンジニア」となる生徒を育成する学校づくりに取り組み、工業教育の成果を活かした生徒による環境負荷低減のための継続的活動を通して、地域社会に貢献する。

取組内容

① ISO14001の取組

平成14年2月、全国の公立高校で初めて「ISO14001」の認証を取得（JAB、UKAS）し、ISO取得後6年間で、学校全体の可燃ゴミ量を約58％削減（H12年度比）。学校から排出される可燃ゴミやリサイクル事業者へ引渡されるペットボトルは、毎週2回計測し、「ISO通信」という形で校内広報するなど、環境意識の高揚を図っている。

可燃ゴミの排出量



ごみの計測風景



② アルミ缶等の回収活動と福祉活動

校内及び周辺地域で回収されたアルミ缶等を校内で整理・洗浄処理するなど地道な活動を実施。所定の量を貯めて車いすと交換し、病院や福祉施設に寄贈。平成16年度には3台、今年度には2台の車いすと交換。日本赤十字社を通じて病院や福祉施設に寄贈。



③ 間伐材を伐採・炭焼きし、河川浄化作業を実施

平成13年度から間伐材を自作の炭焼き窯で木炭に加工し、継続的に河川浄化作業に活用。使用した後の炭は山林に戻して土壌改良の一助にしている。また、この活動を物語風にまとめた環境紙芝居を地域の小学校で公演。



④ 「目指せスペシャリスト」

文部科学省「目指せスペシャリスト（スーパー専門高校）」事業の指定を受け、研究課題に挑戦。総合的・実践的な技術を駆使したもの作りができ、地域・国際貢献ができるグリーンエンジニアの育成を目指す。



再利用可能な部材を使った「環境に配慮した緊急災害時仮設ユニット住宅の製作」を目標に、工業高校全科の希望する生徒が集まり、その技術と技能の全てを投入して製作。

普及・啓発活動としての波及効果

ISO14001の認証取得をきっかけとして県外との交流も盛んに行われるようになるとともに、これら生徒の地道な活動は、子ども達を通じて家庭や地域へとその裾野が確実に広がってきています。

グリーンエンジニアの精神を培った生徒が、将来、大学や企業等において、自分本位でなく他者を思いやる心を持ち、相手を認め尊重できるような資質を持ちながら、3Rを始めとする様々な環境課題解決に向けて活躍していく姿を期待しています。校訓「一人（いちにん）は一校を代表す」の教えを胸に秘め、家庭、職場、地域、日本、地球を代表する自分にしかできない＝オンリーワン活動ができる技術者になること、それが「グリーンエンジニア」です。